

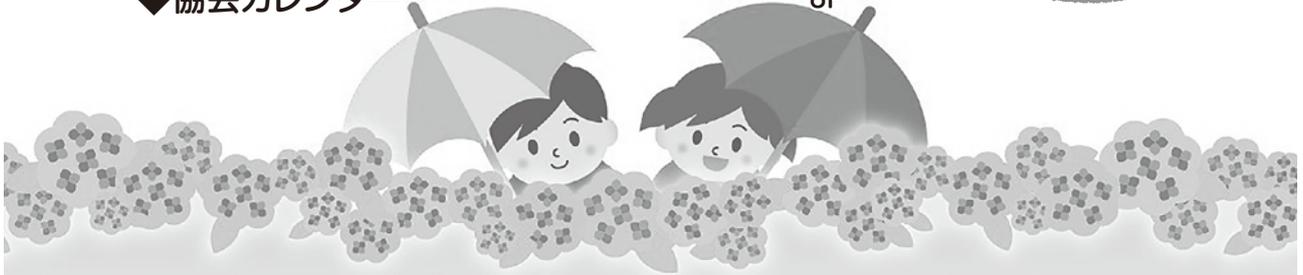
Densho Bato

でんしょ鳩



公益社団法人
 北九州市障害福祉ボランティア協会
 〒804-0067
 北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた6階
 北九州市立東部障害者福祉会館内
 TEL 093-882-6770 FAX 882-6771
 E-mail:XLZ02133@nifty.ne.jp
 URL:https://ksvk.jp/
 ◇郵便局振替口座/福岡 01740-4-8846
 ◇福岡銀行 戸畑支店 普通口座/2130527
 公益社団法人北九州市障害福祉ボランティア協会

- ◆「第38回 定期総会を終えて」 2~3P
 北九州市障害福祉ボランティア協会
 常務理事 竹田 英樹
- ◇福祉のまちづくりネットワークプロジェクト 4P
 リレーレポート①
 「視点のはなし」
 北九州市障害福祉ボランティア協会
 船寄 靖子
- ◆ボランティア物語 5P
 あとがき 宮崎 浩
- ◇「でんしょ鳩」発行回数変更のお知らせ 5P
- ◆MYフレンド 6P
 新虹の会 角光 邦子さん
- ◇ボランティア募集とお知らせ 7P
- ◆協会カレンダー 8P



座標軸

お母さんとお嬢さんの親子と考える二人が寄り添って歩いていました。失礼ながら、そのお嬢さんはダウン症の方でした。どこかへ出かけるのにお母さんがキレイに髪を整え可愛らしい髪飾りも付けていました。ゆつくりと何も語らず歩いているお二人でしたがとても微笑ましく感じられました。

ところがそこへ前から若い男性が近づいて来て、すれ違いざまに吐き捨てた二言に耳を疑いました。女性の顔を見るなり「こわ(怖)ー」と言って過ぎ去りました。失礼な一言です。二人の後ろからは表情はわかりませんが、何もなかったかのように気にせず黙々と歩いて行かれました。

最近、思っていることをストレートに或いは短くした言葉を使われることがよくあります。しかし、わかりやすく伝わりやすいからと云ってストレートな言葉でも人の人格を傷つけるような言葉は感心できるものではありません。気づいて欲しいものです。

障害者への差別や偏見はこうした場面からもわかるように、そう簡単には解消できるものではありません。人々が優しい心をもてる日は遠いのでしょうか? (K.O)

第38回定期総会を終えて

北九州市障害福祉ボランティア協会 常務理事 竹田 英樹

令和元年5月25日(土)に北九州市立東部障害者福祉会館研修室にて第38回定期総会が開催されました。

大曲千代子理事の司会で総会の開会を告げたのち、会員の永田芳子さんが当会基本理念を参加者と一緒に朗読しました。

その後、岡田和敏理事長より「令和という新しい年になりましたが、障害のある人の社会参加には、まだ多くの課題があります。ボランティア活動を通して、障害のある人の社会参加を更に進めていきたいと思います」と挨拶がありました。次に議長選出に入り、会員の佐野哉夫氏が推薦され選任されました。議長が総会成立の確認を行った後、議事録署名人に、個人会員の鹿子嶋初美さん



ん、団体会員からは障害児者の地域生活を考える「らしくの会」代表岩橋由美子さんが選任されました。

【1部総会】

【平成30年度事業報告】

竹田常務理事が、事業総括案の中から4つの重点事業を中心に次のような報告を行いました。

- ① 障害のある人のIT支援については、全国126箇所に取り組み状況のアンケート調査を実施し、調査結果の中から今後の取り組みを検討した。
- ② 地域で取り組まれている防災訓練については、障害のある人にとっても大きな取り組みであり、今後も地域参加への支援を継続していく。
- ③ 障害者差別解消の取り組みは、障害福祉団体連絡協議会(以下・障団連)との連携を更に強化した。
- ④ 令和2年度に廃止になる地域福祉振興協会からの「ひまわり基金」に替わる財源確保の一貫として、施設運営に関する指定管理者への応募を検討したが、応募条件が整わず断念した。

【平成30年度決算報告】

古賀副理事長より、平成30年度収支決算の詳細な報告があり、収入については、正会員の新規入会が増えず予算の約95パーセント近くに留まったことや、ひまわり基金が93万円カットされたこと等、厳しい状況だったが、雇用

助成金や高額のご寄付などによって、ほぼ目標の予算を確保することができたことの報告がありました。

【平成30年度監査報告】

堺監事より、4月25日の監査について、事業・理事の職務の執行および会計について適正に処理がされていることの報告がありました。

議長より、監査報告までの承認を求めたところ、出席者全員で承認可決しました。

【第20期役員提案】

岡田理事長より次期役員案について、留任理事13名、新理事1名の計14名、今回で退任する理事2名、留任理事2名の提案があり、出席者全員で承認可決し、第20期役員が決まりました。

なお新理事は、門司総合特別支援学校PTA副会長の芳賀信江さんです。(芳賀さんの詳細は、次回会報の「マイフレンド」で紹介いたします。)

【令和元年度事業計画】

竹田常務理事より令和元

年度の事業方針・事業計画について説明がありました。

中長期計画の「時代に沿った運営体制の構築」については会員主体の取り組みから事務局主導型の取り組み変化に伴う今後の運営体制、「安定財源の獲得」については、昨年に引き続き財源確保の具体的計画を作成する。また新規事業としては、「観光地のバリアフリー点検」や「ボランティア活動を通じた障害者余暇支援」に取り組むことの説明がありました。

【令和元年度収支予算】

古賀副理事長より、令和元年度収支予算案について説明がありました。前年度予算額に対して、約110万円の縮小になっているが、これの主な原因は、ひまわり基金からの当協会への補助金が40パーセント削減されることに伴うもので、支出も役員報酬を月5万円から3万円に減額する等の緊縮財政とするが、それでも60万円程

度の寄付金獲得を努力目標とすることで収支のバランスを取っているという厳しい状況についての説明がありました。

更に、今年度末までに、基本財産と公益目的事業構成の変更と、公益目的事業別になっている基本財産の一本化へ向けて検討するという提案がなされました

(質疑)

ここで、議長が議場に質疑を求めたところ、会員3人から質問が出ました。

質問①・・障害者差別解消条例をまだ知らない人が多くいると説明がありました。したが、今後の啓発活動を教えてください。

回答・・ボランティア協会(以下ボラ協)が加盟している障団体と連携して、いろいろな場面で周知を図っていきます。

質問②・・障害児者の余暇活動支援について内容を教えてください。

回答・・特別支援学校の夏休

み期間中に、長期休暇対策事業としてプール遊び、映画館を貸し切りにしての映画鑑賞などを実施しています。また、「障害者の余暇活動支援者連絡会」では、市内の活動支援の実態調査をする予定です。

質問③・・会報は昨年までは6回の発行で、今年度は5回となっていますが、何か理由がありますか。

回答・・会報発行の予算も厳しくなってきました。今年度は5回発行予定ですが、来年度からは、年4回の発行になる予定です。発行回数を減らすことで中身の充実を図っていきます。

質問④・・現在、防災と福祉というテーマで取り組んでいる団体です。ボラ協も今年度防災について取り組みます。会員として、ボラ協の事業にどのように関わったらい

か教えてください。

回答・・防災の取り組みについて

でも、障団連の加盟団体として取り組んでいきますが、連携を取れる内容は、声かけをしていきたいと思

います。

質問⑤・・IT事業について、どのように関わったらいでしょうか。

回答・・ボラ協には、ITに詳しいパソコンサポーターがいますので、連携のあり方を相談してみます。

この後、議長より、計画案・予算案の承認を求め、出席者全員で承認可決しました。

以上、議事の終了を議長が宣言し、全ての議案についての討議を終え、議長は退席しました。

【3役選任】
その後の休憩時間中に臨時理事会が別室で開催され、岡田理事長から三役を選出したと報告がありました。

・理事長・岡田 和敏
(西南女学院大学保健福祉学部福祉学科教授)

・副理事長・古賀由美子

(北九州市障害福祉団体連絡協議会事務局長)

・常務理事・竹田 英樹
(北九州市障害福祉ボランティア協会事務局長)

【退任理事へ感謝状贈呈】
3役の報告の後、岡田理事長より、今回で退任される鮎川理事に、長年のご功勞に対し感謝状の贈呈が行われました。

古賀副理事長が進行を担当し、4つのグループに分かれて「おすすめめの市内観光コース」を考えました。

おすすめめの観光スポット、食事処、お土産等を盛り



(2部研修会)

その後、岡田理事長の閉会の辞により、第38回定期総会を終了しました。

最後に、各グループの考えたコースを発表した後、それらにも楽しめるものなのかどうかを検討しました。障害のある人が観光を楽しむために、どんな情報があれば良いのか、どんなボランティアの支援があれば可能なかを申し合いました。

今回は時間が足りず、さわりの部分だけで終わりましたが、今後は他団体とも連携しながら、情報を集め、最終的には「障害のある人たちのための北九州市の観光ガイドブック」を作成できたいですねと副理事長が最後にまとめました。

最後に、各グループの考えたコースを発表した後、それらにも楽しめるものなのかどうかを検討しました。障害のある人が観光を楽しむために、どんな情報があれば良いのか、どんなボランティアの支援があれば可能なかを申し合いました。

今回は時間が足りず、さわりの部分だけで終わりましたが、今後は他団体とも連携しながら、情報を集め、最終的には「障害のある人たちのための北九州市の観光ガイドブック」を作成できたいですねと副理事長が最後にまとめました。

最後に、各グループの考えたコースを発表した後、それらにも楽しめるものなのかどうかを検討しました。障害のある人が観光を楽しむために、どんな情報があれば良いのか、どんなボランティアの支援があれば可能なかを申し合いました。

今回は時間が足りず、さわりの部分だけで終わりましたが、今後は他団体とも連携しながら、情報を集め、最終的には「障害のある人たちのための北九州市の観光ガイドブック」を作成できたいですねと副理事長が最後にまとめました。

最後に、各グループの考えたコースを発表した後、それらにも楽しめるものなのかどうかを検討しました。障害のある人が観光を楽しむために、どんな情報があれば良いのか、どんなボランティアの支援があれば可能なかを申し合いました。

今回は時間が足りず、さわりの部分だけで終わりましたが、今後は他団体とも連携しながら、情報を集め、最終的には「障害のある人たちのための北九州市の観光ガイドブック」を作成できたいですねと副理事長が最後にまとめました。

最後に、各グループの考えたコースを発表した後、それらにも楽しめるものなのかどうかを検討しました。障害のある人が観光を楽しむために、どんな情報があれば良いのか、どんなボランティアの支援があれば可能なかを申し合いました。

今回は時間が足りず、さわりの部分だけで終わりましたが、今後は他団体とも連携しながら、情報を集め、最終的には「障害のある人たちのための北九州市の観光ガイドブック」を作成できたいですねと副理事長が最後にまとめました。

最後に、各グループの考えたコースを発表した後、それらにも楽しめるものなのかどうかを検討しました。障害のある人が観光を楽しむために、どんな情報があれば良いのか、どんなボランティアの支援があれば可能なかを申し合いました。

今回は時間が足りず、さわりの部分だけで終わりましたが、今後は他団体とも連携しながら、情報を集め、最終的には「障害のある人たちのための北九州市の観光ガイドブック」を作成できたいですねと副理事長が最後にまとめました。

最後に、各グループの考えたコースを発表した後、それらにも楽しめるものなのかどうかを検討しました。障害のある人が観光を楽しむために、どんな情報があれば良いのか、どんなボランティアの支援があれば可能なかを申し合いました。

福祉のまちづくり
ネットワークプロジェクト

(リレーレポート⑪)

「視点のはなし」

障害福祉ボランティア協会

船寄 靖子

最近2つの問い合わせが事務局にありました。

視覚障害者団体から「小倉駅のペDESTリアンデッキ付近の工事の情報があ

る？」と問い合わせを受け、そう言われてみれば駅からコレットに向かう南口の階段付近が暗かったことを思い出しました。小倉駅では南口の階段付近から小倉駅を背にして左側、以前郵便局があった場所にできるビルとペDESTリアンデッキを繋ぐ

工事が行われていました。その後、まちネットの定例会や歩道のバリアフリー点検活動などでやり取りをしている道路計画課に小倉駅のペDESTリアンデッキの工事を担当している部署を教えてくださいました。工事の情報として図面をもら

ことができましたが「今後は工事が始まる前に情報をお知らせください」と話をしました。

この小倉駅南口の話はペDESTリアンデッキの工事のことから始まり、「階段の手すりや工事の関係で塞がれていて使えない」と話は続いていったのですが、私自身、月に何度か利用する駅なのに、周りの状況をあまり見ずに歩いていることに気が



視覚に障害のある人は、記憶の地図で歩くという話を聞いたことがあります。頭の中で描いている地図を点字ブロックと白杖を頼りに歩いている途中、いきなり工事中の仮囲いが出てきたら「なに？今どこ？」とパニックになるのではないのでしょうか？

『工事する場所、工事期間』の情報をもっと知ることが出来れば何かしらの対策や心構えをして歩くことができるのではないかと思います。

もう1つは北九州市がギネスに申請した1000人乗れるブランコの話です。



「障害のある人が乗れるブランコがあるか聞いてみて？」と連絡をいただき、問い合わせたところ「ユニバーサルデザインのブランコ(背もたれ付き)がある」と

回答をいただきました。話を聞く限りベルトなど体を固定するものはなく私の頭に浮かんだのは山でよく利用されている『リフトの椅子』のようなもので誰もが安全に乗れる感じのブランコではありませんでした。

障害のある人が遊園地のアトラクションや乗り物に乗れなかつた話を何度か聞いたことがあります。安全性の問題で断りたくないといけないものもま

だたくさんあるとは思いますが、でも、意外と私たちは障害のある人が「アトラクションを体験したい」「あの乗り物に乗りたい」と思っていることにさえ気が付いていないのかもしれない。

これから先、なにか新しいものを作る時に、どうすればより多くの人(幅広い世代の人やハンデイのある人)が使い、楽しむことができるのか、考える視点がプラスされると今よりいいものが出来るのではないかと思います。



ちなみに、国内には車いすで乗れるブランコが岩手県一関市にあるそうです。

広告



SKC 会計グループ
税理士法人 SKC

税務代理業務 ・ 税務相談業務

グループ会社

〒804-0003 北九州市戸畑区中原新町3番3号
TEL. 093-482-5588 / FAX. 093-482-5566
http://www.sakaieiei.co.jp/

株式会社さかい経営センター 株式会社北九州経理代行センター
一般社団法人 相続・贈与相談センター北九州

ボランテニア物語

あとがき 宮崎 浩

このコラムは、前号で最終回を迎えました。その後、いろいろな方から労いの言葉をかけていただきました。この紙面を借りてお礼申し上げます。

平成14年10月から連載して16年余り。過去の記事を読み返してみると「なんと稚拙な文章なんだ」と恥ずかしくなってしまう。また、様々な思い出が蘇ってきました。

第一回目の掲載は、ボランテニア協会が「ウエルとばた」に移転した時でした。

平成14年4月に亡くなられたボラ協の初代理事長の保田井進先生が連載していた「ホッチーのひとくちゼミナール」。

その後を引き継いでほしいと言われて、気安く受けたのが、こんなに長く続くとは思いませんでした。

小説家でも執筆家でもない僕が書くのですから、語彙力に乏しく、限られた文字数に四苦八苦しながら、原稿を上げるの

が締切ギリギリになることも。こんな僕の文章を世に出せるまで、編集していただいた方々には頭が下がる思いです。

記事の題材にも苦労して直面した出来事を綴りました。甥の心臓移植や父母の介護と死。思えば、これらは僕の人生の記録になっています。

もう題材が見つからない時は、障害福祉ボランテニアという枠を越えた内容でも書かせてもらいました。

そんな個人のボランテニア観まで掲載してくれていたボランテニア協会には、心から感謝しています。

僕がボランテニア活動をしているのは、理不尽なことがまかり通っている様を見ると、胸の奥が何か「ザワザワ」としてしまふ。そして、このボランテニア物語では、そんな「ザワザワ」とするのをずっと書いてきたのかもしれない。読まれた方に少しでも「ザワザワ」と届いていたら幸いです。

長い間、ご愛読いただきありがとうございました。

会報紙の発行回数変更のお知らせ!!

予算削減のため、発行回数を変更させていただくことになりました。その分内容を充実していきたいと思っておりますので、ご理解の上、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

現 年6回(隔月)発行

新 本年度5回(4・6・9・12・3月)発行

また、来年度からは4回(6・9・12・3月)発行となります。



広告

介護サービスの相談・サービス事業所との連絡調整・要介護認定の代行申請も行います。



- デイサービス
- ケアプラン作成
- 訪問看護
- グループホーム
- 訪問介護
- 在宅介護無料相談
- 訪問リハビリ

いつも春の陽だまりでありたい



●介護付有料老人ホーム

株式会社 シダー http://www.cedar-web.com
〒802-0026 北九州市小倉北区大島1-7-19
CEDAR TEL 093-513-7855 FAX 093-513-7858

JASDAQ Listed Company 2435



—ボラ協とは—

長い付き合いとか—

ボラ協の前進からのかかわりです。十五歳から手話を学び始め、「わたぼうしコンサート」で手話通訳をしたのが、楽しい体験でした。小倉にボラ協があったころ、家に帰る方向が同じだったので、古賀さん(現・当協会副理事長)の車でよく送ってもらっていました。

家族からは、運転している古賀さんを彼氏と勘違いされたこともあります。(笑)

—手話を学んだのは—

高一の時、生徒会の奉仕活動で「あすなろ学園」でボランティアをしていたのですが、その頃手話を知り、聾学校の先生・父兄・寮母さんたちが集まり、戸畑の健保会館で聴覚障害者を先生に学びました。

—その後は—

昭和四十七年、先生たちと一緒に「虹の会」を立ち上げ活動を始めましたが、二年後発展的に解散し「新虹の会」に入会しました。手話の会は大きくなり現在は九つの支部で活動しています。

今年から事務局次長として手話ボランティア派遣を担当しています。

—活動内容は—

手話ボランティアは、施設に入所している高齢者やあ者の話し相手をしたり、施設のイベントを伝えたり、西部・東部障害者福祉会館の講座、障害者スポーツ大会の通訳などです。

手話ボランティアは多岐にわたった内容です。年間百五十〜百七十ぐらい派遣依頼があります。手話の会の会員は増えています

が、以前に比べて高齢化と

ともに活動を続ける人が減少しています。

—通訳者として—

難しいことは—

専門的な内容を依頼された時、専門用語の手話表現がわからないことがあります。もともと学習が必要です。手話通訳士として今年、政見放送通訳をしましたが生撮りなので心臓がバクバクしました。

手話を学ぶ人たちは、やはり聴覚障害者と交流することが基本です。そして通訳者として資格の有無に関係なく上達するためには、自分に投資することと思います。研修会に参加したり、いろんな行事に参加したり、そして何より続けることが大事です。

—これからの手話は—

六年前から手話言語条例が制定され始め、既に全国で

二百以上の自治体が制定されています。北九州市でも早く手話言語条例が制定されることを祈っています。当事者団体が中心となり一生懸命活動しています。今後は、手話通訳士が国家資格となつて身分保障され、仕事に結びつくと思ひます。

—ブライベートは—

趣味は年七回の市民劇場の観劇です。日常的に手話を使うので、観劇は非日常であり、違う世界で楽しいです。「さすが役者だなあ」と思います。あなたも市民劇場に入りませんか。週一回は、ろう高齢者の豊かな生活を支える会「陽だまり」に行き、高齢者うあ者の人と一緒に作業に取り組んでいます。スナックで飲むのが好きなので月一〜二回行つてます。カラオケで歌いますよ。家は小倉北区の山の上にある真言宗のお寺です。

聞き手 森山 幸恵



新虹の会

角光

邦子さん

広告

明るく・元気に・前向きに! 困ったときはお互い様

業務内容

資料の電子化・データ処理・ホームページ作成・アクセシビリティ検証・企画・デザイン・印刷各種・各種コピー・大型カラー出力・安全標識作成

障害者と共に生き活きと働ける職場づくりを実現するため、日々頑張っています!

三菱ケミカル株100%出資特例子会社 化成フロンティアサービス株式会社

〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石1-1

TEL093-643-4390 FAX093-643-4393

http://kfs.mc.co.jp



ボランティア募集とお知らせ

元気なお兄さん お姉さんを募集

■障害児の長期休暇対策事業

北九州市の特別支援学校の生徒たちを対象に「サマースクール」が実施されます。障害のある子どもたちといっしょに夏の思い出をつくりませんか？映画鑑賞やプール遊び、ダンス、うどん体験教室など楽しい企画が盛りだくさんです！

●日 程 7月下旬～8月下旬
(1日だけの参加でも大歓迎!)

●開催場所

・シネプレックス小倉・ユナイテッド シネマなかま
・北九州市障害者スポーツセンターアレアス など

●事前研修

7月21日(日)参加必須!!
(どうしても都合のつかない場合は要相談)

国際車いすバスケット大会 会場運営ボラ大募集

■第16回北九州チャンピオンズカップ

国際車いすバスケットボール大会開催

11月22日(金)から24日(日)まで開催される国際大会にて一緒に会場運営をしてくださる方を募集します。1日だけの活動参加でも大歓迎です。事前研修もあるのでボランティア活動が初めての方でも安心して参加できます。よりよい大会運営のためにぜひご協力をお願いします!!

●募集期間(定員になり次第締切)

7月10日(水)～8月31日(土)

●開催場所

北九州市立総合体育館

内容: 来場者への案内、チケット・グッズの販売、チケットのもぎり、観客の誘導・整理



お問合せ、お申し込みはお気軽に事務局まで! 電話 093-882-6770 (共通)

わっしょい百万夏まつり!
ボラ協は ごめんなさい!!
今年はお店いたしません



お知らせ

見えない・見えにくい人のための 福祉機器展 in 北九州

■商品を手にとって、触ってみよう

視覚関連の福祉機器業者約20社による機器の展示を行います。商品を実際に触りながら業者の方の説明を受けることができるこの機会をぜひご利用ください。また、一般に販売されているもので、視覚に障害のある人に便利なグッズの展示も行っています。

●日 程 8月25日(日) 10時～16時

●開催場所 北九州市立西部障害者福祉会館

●入場無料

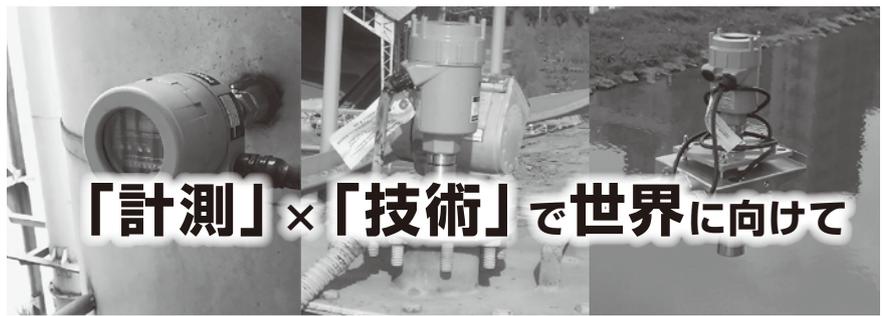
※視覚障害者の方が安心してスムーズに行動できるよう声掛け・案内をしていただくボランティアも募集します!

広告

Matsushima
Matsushima Measure Tech

株式会社 マツシマ メジャテック

〒807-0837
北九州市八幡西区則松東一丁目8番18号
TEL 093-691-3731 FAX 093-691-3735
URL <https://www.matsushima-m-tech.com>
E-mail sales@matsushima-m-tech.com



「計測」×「技術」で世界に向けて

ご協力・ご提供ありがとうございました。(敬称略)

○ご寄付(公益社団法人への寄付は、寄付控除の対象となります)

岩橋由美子 蔵内 綾子 香田 小茅 杉森美紀子
(有)コア (有)仁徳海運

○使用済み切手・テレカ・ハガキなど

牛島実基子 岡村 正子 下田 猛 高田美知子

永田 芳子 古橋千寿子

新日本非破壊検査(株) 八幡西区役所保護課

北九州市難聴者・中途失聴者協会

スピナラソリエ高見店化粧品部

○バザー品

恵良 隆 釘宮 智子 橋本 多恵

事務局からのお知らせ
Facebook 絶賛更新中!!

ボラ協ではイベントや講座の情報、事務局の日常風景をFacebookにアップしています。



E-mail : XLZ02133@nifty.ne.jp

会員の皆さんからの「この写真をボラ協のFacebookに載せて!」などの情報もお待ちしております。

メールアドレスに写真とFacebookに掲載可能なお名前を記入してメールを送信してください。

あなたもボラ協のFacebookに参加してみませんか?

協会カレンダー

6月

1日(土) 障害福祉団体連絡協議会第22回定期総会

全日本視覚障害者協議会 第34回福岡大会(協力事業)

6日(木) JR九州社員カスタマーサポート研修開始(全12回)

7日(金) 北九州市手をつなぐ育成会第41回総会(竹田)

15日(土) 会報223号発行

19日(水) 福祉のまちづくりネットワークプロジェクト勉強会

21日(金) 障害者支援施設北九州あゆみの里落成式(古賀・竹田)

27日(木) 障害福祉団体連絡協議会常任委員会

30日(日) 第26回ふうせんバレーボール北九州大会(後援事業)

とりはた玄海園ボランティア入門講座(竹田)

7月

4日(木) 第1回北九州市障害者差別解消法支援地域協議会

10日(水) 常任委員会

17日(水) 福祉のまちづくりネットワークプロジェクト定例会

21日(日) 東部障害者福祉会館ボランティア入門講座(共済事業)

25日(木) 障害児長期休暇対策事業「サマースクール」開始

8月

21日(水) 音訳・点訳ボランティア養成講座(竹田)

22日(木) 障害児長期休暇対策事業「サマースクール」最終日

25日(日) 見えない・見えにくい人のための福祉機器展(協力事業)